

令和3年度当初予算（案）の概要

コロナ危機を乗り越える新たな県づくりの推進

～ピンチをチャンスに～



産業維新

大交流維新

生活維新

産業維新

大交流維新

生活維新

令和3年2月

 山口県

予算編成の基本的な考え方

- 直面する新型コロナウイルス感染症の危機を乗り越え、「活力みなぎる山口県」を実現していくために、感染拡大の防止と経済活性化の両立を図り、危機から生まれた社会変革の動きをしっかりと捉えこれからの成長につなげていくことで、コロナ禍というピンチをチャンスに変え、県づくりの取組を力強くスピード感を持って前に進める。また、国の経済対策に呼应し、「15か月予算」の考え方により、令和2年度2月補正予算と令和3年度当初予算を一体的に編成し、切れ目なく対策を講じる。

I 新型コロナウイルス感染症対策の徹底と経済活性化の両立

県民の命と健康を守ることを最優先に、新型コロナウイルスの更なる感染拡大に備え、柔軟かつ万全の対策を講じるとともに、低迷している社会経済活動の段階的な引上げに重点的に取り組む。

II 危機から生まれた変化を成長へつなげる県づくりの加速化

感染状況の推移等を見極めながら、国の政策に呼应し、県政の様々な分野でデジタル化を強力に進めるなど、感染拡大の局面で生まれた社会変革の動きを施策推進に確実に取り込み、より大きな成果につなげていく。

III 国の経済対策に呼应した緊急課題への対応

「国民の命と暮らしを守る安心と希望のための総合経済対策」に呼应し、令和2年度2月補正予算と令和3年度当初予算を一体的に編成し、新型コロナウイルス感染症の拡大防止、防災・減災、国土強靱化などの安心・安全の確保等に切れ目なく迅速に対応する。

当初予算のポイント

◆当初予算規模（一般会計）

7,529億円（前年度比+788億円 +11.7%）

※国の経済対策に呼応した2月補正予算と一体編成後の予算規模 7,829億円

一体的な予算編成の状況

（単位 百万円）

区分	予算額		区分	予算額	=	区分	予算額
令和3年度 当初予算	752,893	+	令和2年度 2月補正予算 (国経済対策分)	30,006	=	一体編成後の 予算	782,899

《一体的な予算編成の考え方》

国の「15か月予算」の考え方と同様に、令和2年度2月補正予算と令和3年度当初予算を一体的に編成し、新型コロナウイルス感染症の拡大防止、防災・減災、国土強靱化などの安心・安全の確保等に切れ目なく迅速に対応する。

区分	増減額	増減率
対前年度比	+108,793	+16.1%

I 新型コロナウイルス感染症対策の徹底と経済活性化の両立

- ◆ 新型コロナウイルス感染症の収束状況が見通せない中、感染拡大防止のため、引き続き県民の命と健康を守ることを最優先に医療提供体制等を充実・強化

1 感染拡大の防止

〔検査体制の確保〕

- 医療機関等でのPCR等検査の継続
 - ・ 最大4,000件/日
- 地域外来・検査センターの設置・運営
 - ・ 14箇所（下関市を含む）



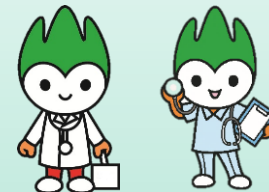
〔医療提供体制の強化〕

- 拡** 入院患者受入病床の確保
 - ・ 423床→475床（+52床）
- 拡** 軽症者等の宿泊療養施設の確保
 - 新** 療養者の体調管理をサポートする機器の整備
- 拡** 入院協力医療機関に対するCT撮影装置等の整備支援
- 新** ワクチンの迅速かつ円滑な接種のために必要な体制を構築



〔保健所等の体制確保〕

- 受診・相談センターにおける専用相談窓口（＃7700）の継続設置
- 患者搬送コーディネーターの継続配置



〔社会福祉施設等感染対策〕

- ・ 社会福祉施設等でサービス継続に必要な衛生用品の購入や個室化改修等を支援
- ・ 災害時における避難所配布用物資（段ボールベッド、パーティション）を備蓄
- ・ 県立高校等における感染症対策に必要な衛生用品等の追加購入
- ・ 特別支援学校の通学バスの増便や大型化等による感染リスクの低減

I 新型コロナウイルス感染症対策の徹底と経済活性化の両立

- ◆ 感染拡大防止との両立を図りつつ、県民生活の安定確保、県内経済の下支え等により、社会経済活動を段階的に引上げ

2 県民生活の安定

- 生活困窮者に対する住居確保給付金の支給、生活相談等
- 生活福祉資金貸付原資の積み増しを行い、収入が減少した方へ生活資金の貸付を安定的に実施
- コロナの影響を受け、家計急変した世帯への授業料等の教育費を支援
- 新しい生活様式に基づいた子ども食堂の開催を支援

3 県内経済の下支え

- 拡** 制度融資に係る融資枠の十分な確保、「伴走支援枠」の新設、信用保証料補助、利子補給により、中小企業者等の経営基盤を安定化
- 新** コロナの影響を特に受けている業種における企業内の配置転換や求職者のキャリアチェンジ等を支援
- 新** 事業者が実施するEC取引に係る送料を支援



4 消費需要の喚起

- コロナの影響を受けた観光需要を喚起
 - プレミアム宿泊券・フェリー券の発行や体験型体験型コンテンツを活用した観光需要の喚起
 - 新** 「3密」を回避できる「安心安全」を前面に打ち出した、効果的な観光プロモーションの展開



- 県産農林水産物生産者を応援
 - 日本酒、花き、高級魚等の消費需要を喚起するための割引キャンペーンを実施



Ⅱ 危機から生まれた変化を成長へつなげる県づくりの加速化

- ◆ 県政の様々な分野でデジタル化を進め、その技術を活かして変革を生み出すDXを推進
- ◆ AIやアプリ等の活用により、安心して妊娠・出産、子育てができる環境を整備

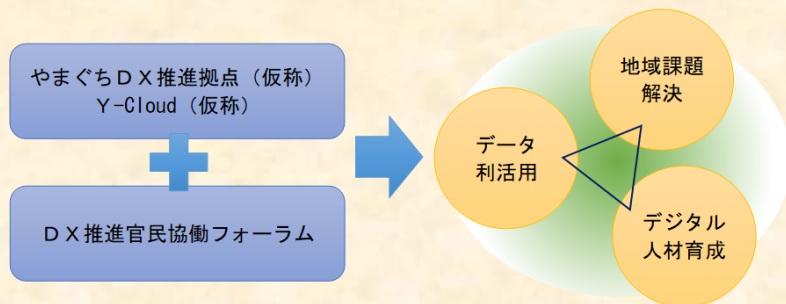
1 デジタル化の推進

新 デジタル社会の実現に向けて、全県的なDXの推進

～ デジタルで創ってゆく。より豊かな未来社会を ～

- DXの推進拠点を山口市に整備し、市町等の多様な主体に対するDXコンサルティングやデジタル化の技術的支援、人材育成等を実施
- 共同利用可能なデータプラットフォームやAI開発ソフト等を格納する山口県版クラウド「Y-Cloud（仮称）」を構築
- 行政・民間・地域等の連携体制を構築するためDX推進官民協働フォーラムを創設

※DX（デジタルトランスフォーメーション）
ICTの浸透が人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させること



〔子育て・教育DX〕

新 24時間365日対応できる、妊娠・出産から子育てまで一貫した伴走型支援を実施

～ 子育て世帯をいつでもサポート ～

- 全国初となるAIを活用した総合的な子育て支援システムを構築

新 子育ての不安や育児疲れ、児童虐待、DVなどの問題の深刻化を未然に防止

～ いつでも どこでも あなたにつながる ～

- 全国での制度開始に先駆けて子育ての悩みや虐待等に関する相談にワンストップで対応するSNS相談体制を構築



Ⅱ 危機から生まれた変化を成長へつなげる県づくりの加速化

- ◆ ICT環境を活用し子どもの可能性を広げる「やまぐちスマートスクール構想」を推進
- ◆ 高度なインフラ監視・点検による「日本一の安心インフラやまぐち」を実現

1 デジタル化の推進〔子育て・教育DX〕

〔防災・インフラ点検高度化〕

新 1人1台タブレット端末等のICT環境を活用した教育におけるDXを推進

- 「一人ひとりに合った学びで力を引き出す学校！」の実現
 - ・ 教育ビッグデータ（学習履歴等）の分析等を通じた学習指導等の展開やデジタル人材の育成
- 「海外・地域・他校とつながる学校！」の実現
 - ・ 複数校との連携授業や、海外や県外の教育機関との遠隔授業等を実施



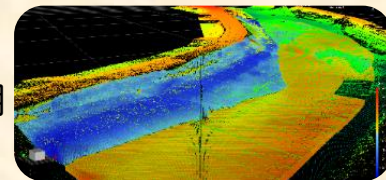
新 地域の産業界を牽引するDXに対応した職業人材を育成

- ～ DX時代を担う産業人材の育成 ～
- ・ 専門高校等においてデジタル化対応産業教育装置を整備



新 河川の堤防等における点検作業の迅速化や異状の早期発見

- ・ 衛星やドローン等を活用した地形の変状監視



新 橋りょうにおける異状箇所の早期発見・早期対応

- ・ 3次元モデルやひずみ計・変位計の計測結果を活用したAIのデータ解析による損傷予測等の実施

新 インフラメンテナンスの高度化・効率化

- ・ 測量・設計、施工、維持管理の各段階で3次元モデルの活用を促進



※ 3次元モデル
対象とする構造物等の形状を
3次元で立体的に表現した情報

Ⅱ 危機から生まれた変化を成長へつなげる県づくりの加速化

- ◆ 民間におけるデジタル化の取組を支援することで、AI、IoT等の未来技術を活用したDXを促進し、その成果を社会実装

1 デジタル化の推進〔中堅・中小企業DX〕

新 革新的な生産性の向上、既存ビジネスの変革、新規ビジネスの創出の促進

～ DXによる企業の持続的成長を強力に後押し ～

- 企業のデジタル化に係るシステム構築等を支援
- 企業内DX推進人材を育成するための研修等を実施



ドローンを活用した
DXソリューション導入

新 県内ものづくり企業等における生産性の向上や、新たな付加価値の創出を促進

～ 先進デジタル技術で、ものづくり企業を高度化 ～

- 5G・AI等の未来技術の導入・利活用や、新たな製品・技術等の創出に向けた取組を一貫支援

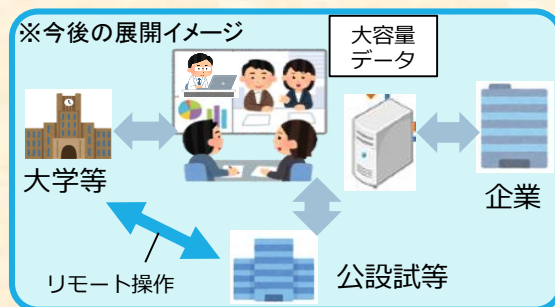


スマートグラスを活用した
リモート支援導入

新 企業の研究開発の迅速化、効率化、低コスト化

～ 「新たな日常」に対応した
研究開発基盤の構築 ～

- 大学・公設試験研究機関間の研究機器のリモート操作の実証、解析データの共用化等を実施



新 DX対応支援資金【融資枠5億円】

- ～ 中小企業のデジタル技術導入等を応援 ～
- 中小企業者がDXを通じた革新的な生産性向上や既存ビジネスの変革に取り組むために必要な資金を融資

Ⅱ 危機から生まれた変化を成長へつなげる県づくりの加速化

- ◆ コロナ禍における県内中小企業のテレワーク・ウェブ会議等の新たな働き方、オンラインによる就職・採用活動の普及・定着や商店街の新たな取組を支援

1 デジタル化の推進〔中堅・中小企業DX〕

新 働き方の新しいスタイルの実践・定着を推進

～ 新しい働き方を応援 ～

- ・ コロナ禍において広がりつつあるテレワーク、ウェブ会議の継続的な利用促進
- ・ DXを活用したワークプレイスの取組事例の創出



全域ネットワーク

大型の電子黒板



新 コロナ禍における若者等の就職や県内中小企業の採用機会の確保

～ コロナに負けない新たな就職・採用スタイル！ ～

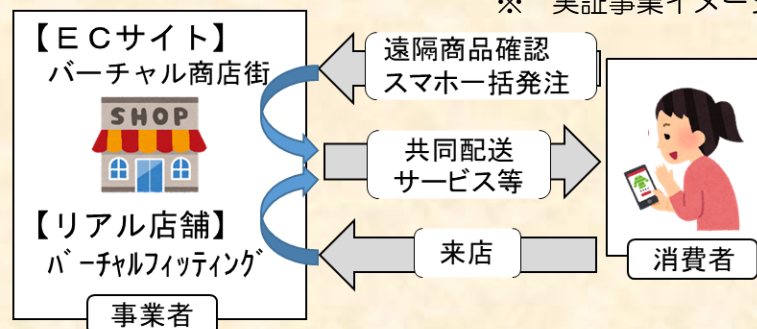
- ・ オンラインによる就職・採用活動を支援し、県内就職を促進

新 商店街が抱える課題の解決とコロナ禍の「新たな日常」に対応

～ 商店街でのDX推進 ～

- ・ デジタル技術を活用した未来型商店街を創出するための実証事業を実施

※ 実証事業イメージ

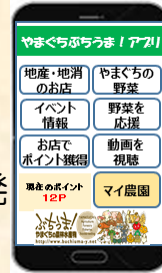


Ⅱ 危機から生まれた変化を成長へつなげる県づくりの加速化

- ◆ デジタル技術を活用し、県産農林水産物のさらなる需要拡大や、経営の効率化、生産性の向上を図ることで、農林水産業の成長産業化を推進

1 デジタル化の推進〔スマート農林水産業〕

- 新** デジタル技術を活用した県産農林水産物のさらなる需要拡大
～ スマホでやまぐちの農林水産物を応援 ～
 - ・ 「やまぐちぶちうま！アプリ」の開発
 - ・ カタログギフトのデジタル化



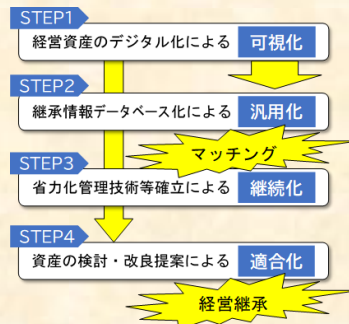
- 新** 畜産農家の飼養管理の省力化や生産性の向上
～ モ〜っとらくらく みんなで見守り ～
 - ・ 畜産農家と関係機関が一体となって、クラウドシステムや牛の健康監視システムを導入



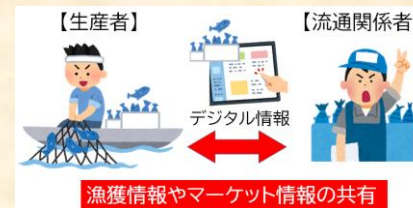
- 新** コロナ禍において減少した大都市圏での商談機会の回復
～ 地域資源を活用した持続可能なビジネスを応援 ～
 - ・ 新型コロナウイルスに対応した非接触型ビジネスの推進



- 新** 継承意向のある農業者の経営継承を促進
～はじめよう！「農の継活」～
 - ・ 農業経営資産のデジタル化をはじめとしたモデル実証を行い、円滑なマッチングによる経営資産の継承を実現



- 新** 漁業者の操業の効率化、収益性の向上
～ 産学公連携で水産業のデジタル化を推進 ～
 - ・ マーケットインの観点を取り入れ、産学公連携によりデジタル技術を活用した新たな生産・流通体制の構築を目指して実証



Ⅱ 危機から生まれた変化を成長へつなげる県づくりの加速化

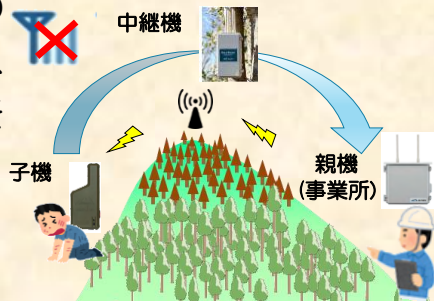
- ◆ デジタル技術の導入により、労働環境の危険防止や業務の効率化を図るとともに、日常生活においては身近に潜む危険に対し警鐘を鳴らすことで犯罪被害等を未然に防止

1 デジタル化の推進〔スマート農林水産業〕〔地域課題の解決につながるソリューションの創出〕

新 林業労働環境の改善

～ デジタルで減らす危険と増す安心 ～

- ・ 林業の労働災害発生の低減と軽労化に資するスマート林業技術の導入を支援



新 急増している県内の大麻乱用者の未然抑制

～ AI技術で県内大麻乱用者ゼロを目指して ～

- ・ AIを活用しSNS内の大麻関連キーワード等を巡回し、注意喚起や警告



新 主伐から再生林までの施業全般における採算性の向上による森林資源の循環利用の促進

～ スマート技術で次世代型林業に転換 ～

- ・ スマート林業技術の現場実装に向けた取組を支援



新 先端技術活用による児童・生徒の自主防犯意識の高揚

～ 身近な危険をデジタル技術で体験 自ら考える力を育てよう ～

- ・ VR動画やリモート講習など、デジタル技術を活用した防犯・交通安全教室を実施



Ⅱ 危機から生まれた変化を成長へつなげる県づくりの加速化

- ◆ デジタル技術を活用し、住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、地域課題を解決する新たなソリューションを創出

1 デジタル化の推進〔地域課題の解決につながるソリューションの創出〕

新 低炭素型ライフ・ビジネススタイルの定着を促進

- ～ アプリを使って みんなでぶちエコ ～
- ・ 「CO₂排出の見える化」スマートフォンアプリの開発・運用による行動変容の促進



新 IoTを用いた遠隔・統合制御による再エネの有効活用

- ～ EVで再エネを賢く使おう ～
- ・ 県有施設をモデルとしてEVの蓄電機能をIoTにより最適制御する実証を実施



新 介護事業所、障害福祉サービス事業所の業務の効率化

- ～ ICT化、その先にある笑顔に向けて ～
- ・ 介護事業所、障害福祉サービス事業所におけるICT及びロボット技術の導入を促進



Ⅱ 危機から生まれた変化を成長へつなげる県づくりの加速化

- ◆ 行政手続のオンライン化やICTを活用した業務の効率化を推進し、県民の利便性や満足度を高めるデジタル技術を活用した行政サービスを提供

1 デジタル化の推進〔デジタル・ガバメント〕

拡 県庁のデジタル化の推進

- 行政のオンライン手続きの利便性向上のため、ポータルサイトを構築
- ペーパーレス会議の実施拡大
- ウェブ会議環境の向上



新 県民相談サービスの質の向上

- 県民相談サービスの向上に向けたAIチャットボット等の導入



拡 納税者の利便性の向上

- 県税のキャッシュレス収納の拡大

新 県内市町と一体となったデジタル化の推進

- 県と市町の共同利用型RPA等の構築と実証

新 オンラインを活用した探究的な学習活動の推進

- 県立高校において、全国の大学や研究機関と連携した遠隔講義等の実施に向け、YSN（やまぐち情報スーパーネットワーク）を活用し、学術情報ネットワーク（SINET：サイネット）へ接続できる環境を整備

新 博物館所蔵品の鑑賞機会の拡大や学校等における学習活動の支援

～展示室内外をオンラインでつなく新たな博物館空間の構築～

- 県立山口博物館が所蔵する文化資源をデジタル化

電子図書館ウェブサイト



新 自宅等に居ながら読書や学習、調査・研究を実現

～新しい生活様式に対応した新たな図書館サービスの導入～

- デジタル技術を活かした利便性の高い電子図書館サービスを提供



Ⅱ 危機から生まれた変化を成長へつなげる県づくりの加速化

- ◆ コロナ禍において地方移住に関心が高まる中、テレワーク・ワーケーションを一体的に推進するとともに、新たなツールを活用し観光需要を喚起するなど新たな人の流れを創出・拡大

2 新たな人の流れの創出・拡大

新 テレワークを活用した新たな人の流れの創出

～ テレワークで本県への人の流れを創出 ～

- ・ 「地方創生テレワーク」のモデルオフィスを全国で初めて県庁1階に開設し、都市部テレワーカーを受入
- ・ 国の地方創生移住支援事業を活用し、移住後も引き続き業務を行うテレワーカー等を支援



新 関係人口の創出・拡大や移住の促進

～ 働き方の新しいスタイルで人の流れを呼び込む！ ～

- ・ 受入体制の整備や首都圏企業等の呼び込みを行うなど、本県独自のワーケーションを推進

新 キャンプ場を拠点とした交流人口の拡大

～ 「スポーツフィールドやまぐち」の推進 ～

- ・ キャンプとアウトドアを結びつけた「新しいスポーツツーリズム」を推進



新 国内外の観光客の県内周遊を促進

～ デジタル活用で観光事業者の集客力アップ ～

- ・ デジタルプラットフォームを活用した県内観光事業者の情報発信やマーケティングを支援

新 文化施設と連携した地域周遊につながる取組の推進

～ 「リアル×バーチャル」 新しい美術館の創造 ～

- ・ 2つの県立美術館でのデジタル技術を活用した魅力あるコンテンツを造成

※バーチャル
ミュージアム
イメージ



Ⅱ 危機から生まれた変化を成長へつなげる県づくりの加速化

◆ 本県の将来を担い、未来を切り拓いていく若者たちが、困難な課題に果敢に挑戦し、乗り越えていく力を備えることができるよう、新たな時代に対応した人づくりを推進

3 「新たな日常」を支える人材育成

新 子どもの創造力・表現力の育成

～ めざせ！子どもクリエイター ～

- アナログ技術から最先端のデジタル技術まで様々なツールを活用したワークショップを一堂に集めたイベントを開催



新 幼児教育・保育の質の向上を総合的に推進

～ 乳幼児期からの人づくり 幼児教育・保育の充実 ～

- 山口県乳幼児の育ちと学び支援センターを設置し、幼児教育・保育の一体的な推進体制を整備
- 幼児教育アドバイザーの施設巡回による指導・助言を実施



新 世界に向けた広い視野と身近な問題に目を向ける視点の両方を持つグローバルリーダーの育成

～ グローバル × ローカル ➡ グローカル ～

- 本県の自然や文化等をテーマに、外国人留学生等の多様なメンターを交えたワークショップを組み合わせたプログラムを実施



【新設】山口県乳幼児の育ちと学び支援センター

幼児教育の内容・指導方法等に関する保育者への研修や調査研究、幼児教育施設に対する指導・助言・情報提供等の施策を総合的に実施する拠点



Ⅲ 国の経済対策に呼応した緊急課題への対応

令和2年度2月補正予算（国補正予算関連）の概要（計30,006百万円）

全体概要

区分	補正予算額 (百万円)
1 新型コロナウイルス感染症の拡大防止策	1,690
2 ポストコロナに向けた経済構造の転換・好循環の実現	9,799
3 防災・減災、国土強靱化の推進など安全・安心の確保	18,517
計	30,006

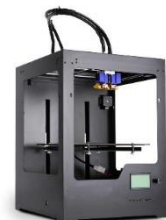
2 ポストコロナに向けた経済構造の転換・好循環の実現

《主な事業》

- 公共事業（土地改良等）（3,933百万円）

- 新** デジタル化対応産業教育装置整備事業
《再掲》（1,573百万円）

- ・ 専門高校等におけるデジタル化対応産業装置の整備



3Dプリンター

1 新型コロナウイルス感染症の拡大防止策

《主な事業》

- 新** 新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業
《再掲》（233百万円）

- ・ 円滑なワクチン接種体制の構築

- 通学対策費（コロナ対策分）
《再掲》（196百万円）

- ・ 特別支援学校スクールバスの感染リスク低減

- 新** 軽症者等療養体制確保事業《再掲》（55百万円）
- ・ 療養者の体調管理をサポートする機器の整備

3 防災・減災、国土強靱化の推進など安全・安心の確保

《主な事業》

- 公共事業（広域河川改修等）（18,451百万円）



- 地域包括ケアシステム基盤整備事業（32百万円）
- ・ 高齢者施設等に対する非常用自家発電設備等整備支援

防災・減災、国土強靱化の取組等に対応した補助公共・直轄事業費の確保

○ 国の総合経済対策に対応し、防災・減災、国土強靱化の推進をはじめ、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」で新たに臨時・特別の措置に追加された予防保全型インフラメンテナンスへの転換に向けた老朽化対策等を進めるとともに、農林水産業の成長産業化等に向けた基盤整備に取り組む。

令和2年度2月補正予算の概要（国補正分：補助公共・直轄事業負担金）		合計 22,384百万円	
防災・減災、国土強靱化の推進	11,202百万円	予防保全型インフラメンテナンスへの転換に向けた老朽化対策	7,249百万円
○ 農業農村整備（農地防災） 老朽ため池（下関市）ほか29箇所	(1,079百万円)	○ 道路（橋りょう補修等） 主要県道光上関線（上関町）ほか56箇所	(5,624百万円)
○ 治山（防災対策） 治山ダム（県東部地区）ほか9箇所	(524百万円)	○ ダム（堰堤改良） 阿武川ダム（萩市）ほか6箇所	(972百万円)
○ 道路（道路改良等） 一般国道490号（美祢市～萩市）ほか42箇所	(2,830百万円)	○ 砂防（急傾斜地崩壊対策等）等 熊野町（山口市）ほか10箇所	(653百万円)
○ 河川・砂防（広域河川改修等） 土穂石川（柳井市）ほか70箇所	(3,957百万円)	農林水産業の成長産業化	3,102百万円
○ 港湾（海岸防災等） 徳山下松港（周南市）ほか5箇所	(2,812百万円)	○ 農業農村整備（土地改良） 経営体育成基盤（山口市）ほか25箇所	(2,720百万円)
		○ 造林（森林整備）	(219百万円)
		○ 水産（機能保全） 下関漁港（下関市）ほか6箇所	(163百万円)
		サプライチェーンの強靱化と国際競争力の向上	831百万円
		○ 道路・港湾（道路改良等） 一般国道491号（下関市）ほか6箇所	(831百万円)

《補助公共・直轄事業負担金に係る一体編成の状況》 （単位 百万円）

区分	R2当初 A	一体編成の状況			増減率	
		R2.2月補正 （国補正分）B	R3当初 C	合計 D=B+C	C/A	D/A
補助公共・直轄事業負担金	64,231	22,384	54,850	77,234	85.4%	120.2%



4 令和3年度当初予算における財源不足及び財源調整用基金の状況

- 当初予算編成方針策定時における財源不足見込額（70億円）について、直近の景況による税収の見込みや地方財政対策等を踏まえた上で、国補正予算（第3号）による地方創生臨時交付金等の最大限の活用や予算編成過程における歳出削減及び歳入確保等の取組により最終的な財源不足額は45億円となりました。
- この財源不足額に対し、財源調整用基金の一部を取崩し対応するため、令和3年度末の基金残高（見込）は95億円となります。

財 源 不 足 額

▲45億円(R3当初) ← ▲70億円(編成方針策定時の見込み)
 ※財源調整用基金の取崩しにより対応

《財源調整用基金の状況》

(単位 億円)

区 分	令和2年度			令和3年度
	当初予算	補正予算	補正後	当初予算
取 崩 額	23	98	121	45
積 立 額	—	127	127	—
年度末残高(見込)	111	—	140	95

《基金残高の推移》

(単位 億円)

区 分	H29	H30	R元	R2	R3
基金残高	71	78	96	111	95

※当初予算ベース

※財源調整用基金：財政調整基金、減債基金、大規模事業基金の合計

5 一般分の県債残高の状況

プライマリーバランス（公債費－県債発行額）の黒字の堅持

- 一般分の県債に係るプライマリーバランスは、平成13年度以降、21年連続で黒字。 (+103億円の黒字)
- 県債全体のプライマリーバランスも、10年連続の黒字。 (+55億円の黒字)

《参考》プライマリーバランスの推移

(単位 億円)

区分	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3
県債全体	4	79	196	276	277	208	160	104	230	55
うち一般分	354	393	420	360	312	223	136	1	114	103
うち特別分	▲320	▲321	▲233	▲95	▲48	▲28	11	90	103	▲60

※当初予算ベース(26年度は6月補正後予算ベース)

県債残高（一般分）の状況

- 一般分の県債残高について、令和2年度は、国の「国民の命と暮らしを守る安心と希望のための総合経済対策」に対応するための県債の追加発行により増加するが、令和3年度は再び減少に転じる見込み。

(単位 億円)

区分	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3
県債残高	12,740 (136)	12,833 (93)	12,806 (▲27)	12,697 (▲109)	12,573 (▲124)	12,402 (▲171)	12,265 (▲137)	12,201 (▲64)	12,360 (159)	12,350 (▲10)
うち一般分	8,509 (▲285)	8,236 (▲273)	7,971 (▲265)	7,684 (▲287)	7,481 (▲203)	7,266 (▲215)	7,112 (▲154)	7,118 (6)	7,265 (147)	7,189 (▲76)
うち特別分	4,140 (412)	4,498 (358)	4,745 (247)	4,932 (187)	5,024 (92)	5,081 (57)	5,109 (28)	5,052 (▲57)	5,077 (25)	5,154 (77)

※H24末～R元末は決算、R2末は2月補正後予算、R3末は当初予算ベース